4-091-264-02 (1)

SONY

画像について「アレッ?」と思ったら

このたびは、ソニーのテレビをお買い上げいただきありがとうございます。お客様からテレビの画像について、よく寄せられるご質問をまとめてあります。テレビを安全かつ快適にお使いいただくために、お読みください。

参照ページの表記について

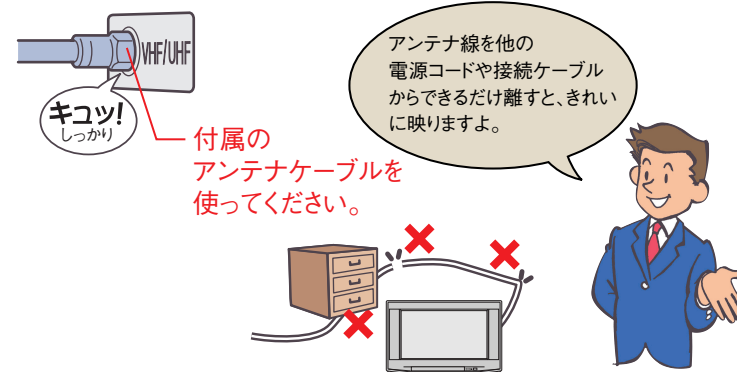
「画像について「アレッ?」と思ったら」では、参照する取扱説明書によって、下記のように区別して表記しています。

KD-28HD900/KD-32HD900/KD-36HD900の取扱説明書を参照する場合
☞○○ページ:緑色の文字で表記しています。

KD-28HD600/KD-32HD600/KD-36HD600の取扱説明書を参照する場合
☞○○ページ:青色の文字で表記しています。

特に記載のないイラストは、KD-28HD900/KD-32HD900/KD-36HD900です。

横しまが出ていたり(横しまノイズ)、ざらざらとしていたり(スノーノイズ)して、画像がきれいに映らないんだけど?

電波妨害や接触不良が起きています。アンテナ線が端子にキチンとつながっているか、折れたり切れたりしていないか確認してください。

電源を入れてチャンネルを選んでも、テレビ放送(地上波)が映らないんだけど?

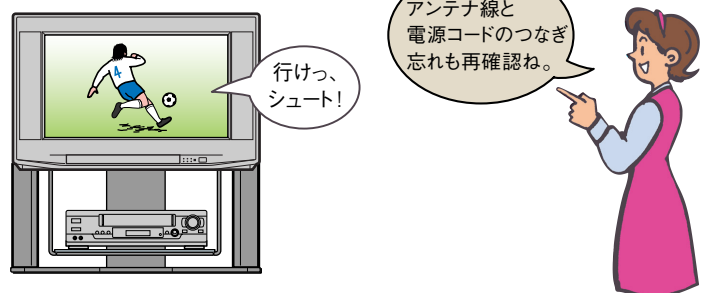
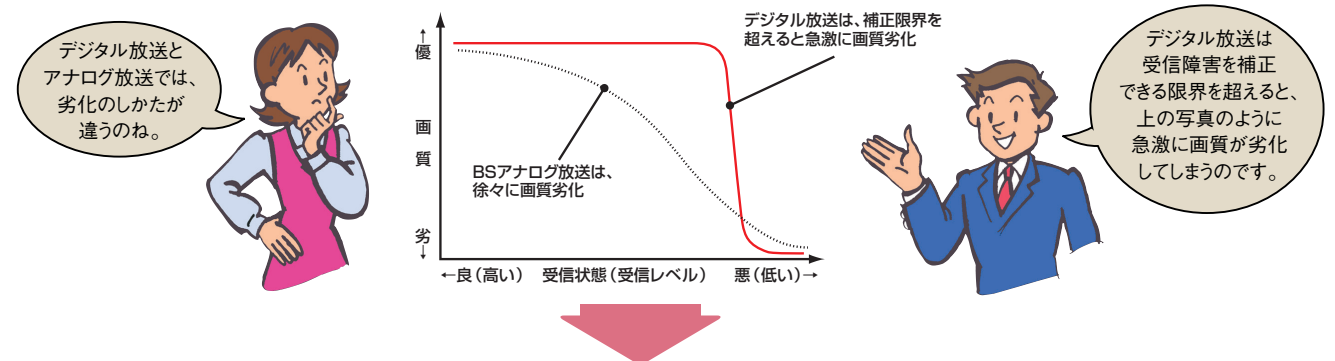
テレビ放送があるときに、自動チャンネル設定をしてください。

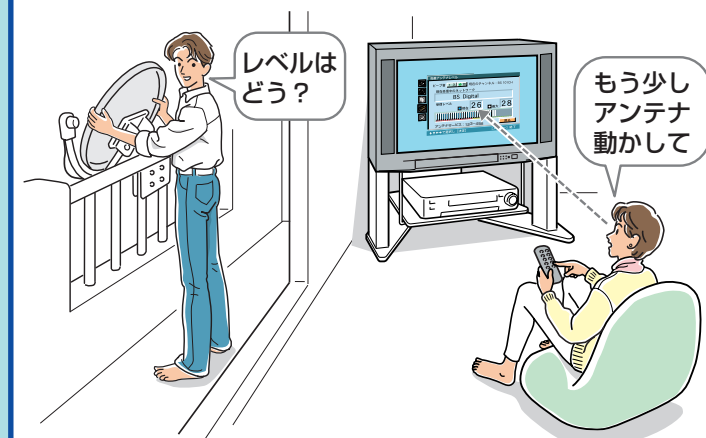
30秒間くらいで、お住まいの地域で受信できるテレビ放送(地上波)を自動設定し、受信できます。詳しくは、取扱説明書(☞108☞86ページ)の「準備6:テレビ(地上波)のチャンネルを設定する」をご覧ください。

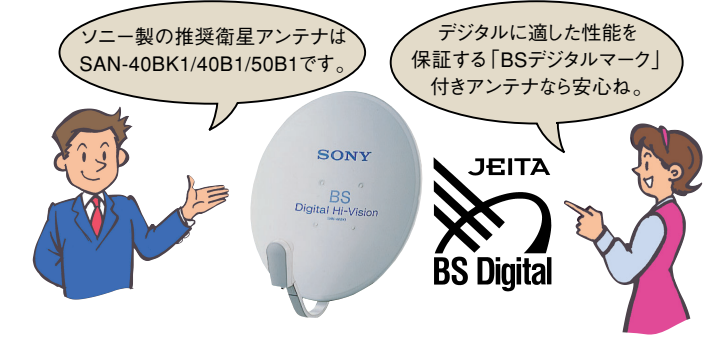
デジタル放送がきれいに映らないんだけど?

マス目状の画像になっている
ブロックノイズ

正常に受信しているときの画像
オリジナル

黒くなって何も映らなくなる
ブラックアウト

アンテナレベルが最大になるように、衛星アンテナの向きを再調整してください。

詳しくは、取扱説明書(☞113☞92ページ)の「衛星アンテナの向きを調整する」をご覧ください。

アンテナレベルが25以上あるのに症状が消えないときは、アンテナがデジタル放送に適した性能を持っているか再確認してください。

年数の経過した一部の衛星アンテナ、ブースター(増幅器)、分配器では、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないため、正しく受信できません。交換が必要な場合があります。

詳しくは、衛星アンテナ製造元のお客様窓口や、衛星アンテナを購入した電気店などにお問い合わせください。

マンションなどの共同受信システムの方は、マンション管理会社(または管理人や管理組合など)に、BS・110度CSデジタルに対応しているかなどを、お問い合わせください。

ブースター(増幅器)の設置や調整などが必要な場合があります。また、年数の経過した一部の共同受信システムでは、正しく受信できないことがあります。

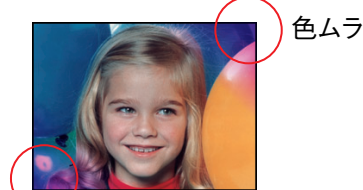
ケーブルテレビでBS・110度CSデジタル放送をご覧になりたい方は、加入されているケーブルテレビ会社に、BS・110度CSデジタル放送に対応しているか、お問い合わせください。

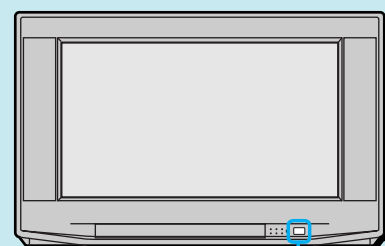
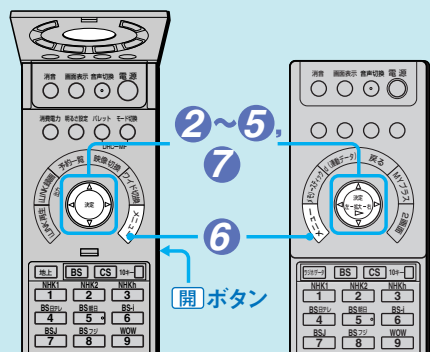
110度CSデジタルを受信するには

110度CSに衛星アンテナや分配器、ブースター(増幅器)、および共同受信システムが対応していれば、110度CSデジタル放送を受信できます。対応していない場合は、110度CSデジタル放送は受信できません。詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。

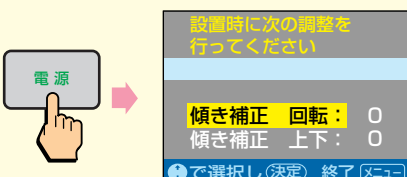
画像が右上がりになっていたり、左上がりになっていたり、上下にずれていたりするんだけど？

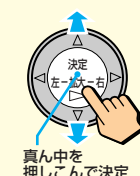
初めて本機の電源を入れると、「傾き補正」のメニューが表示され、地磁気など磁界によって発生する画像の傾きや画面上下位置のずれを補正できます。
お買い上げ時は、テレビ（地上波）アンテナや衛星アンテナをつないでから、必ず下記の手順にしたがって、画像の傾きや上下位置を補正してください。

画像の一部に色むらがあるんだけど？

- 外部のスピーカー（防磁型も含む）は、テレビから30cm以上離して置いてください。スピーカーの磁気により、うまく補正されなかったり、スピーカーから雑音が出たりするためです。
- 強い磁界（高圧電線や電車、金属製の雨戸、鉄筋コンクリート、鉄製機材の近辺など）では、うまく補正されないことがあります。
  このときは、磁界の影響を受けない場所に設置されるか、お買い上げ店やソニーサービス窓口などにご相談ください。
- 下記の手順にしたがって、画像の傾きや上下位置を補正してください。
  この補正は、画像の傾きだけでなく、色むらにも影響するためです。

地磁気による画像の傾きや上下位置を補正するには

KD-28/32/36HD600　KD-28/32/36HD900

1 本体の電源スイッチを押す。

初めて、本機の電源を入れると、下の画面が表示されます。
調整を行ってください。

2 △/▽で「傾き補正　回転」を選んで、決定する。

傾き補正　回転　0

画面上下に表示されているバーを目安にして、傾きを補正してください。

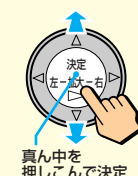
3 △/▽で調整して、決定する。

画面上下のバーができる限り水平になるようにします。数値は－7～＋7の範囲で変わります。
補正中の画面モードは、補正に適した「フル」になります。

ご注意

調整をするときは、一度に大きく回転させないで、1段階ずつ数値を変えてください。
一度に大きく回転させて水平を超えると、調整前と逆に傾き、色むらなどの原因になることがあります。

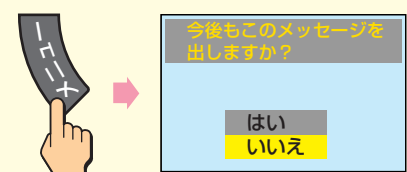
4 △/▽で「傾き補正　上下」を選んで、決定する。

傾き補正　上下　0

画面上下に表示されているバーを目安にして、画面の上下位置を補正してください。

5 △/▽で調整して、決定する。

画面の上下のバーが、画面の上下の端からできるだけ均等になるように、位置を補正します。数値は－5～＋5の範囲で変わります。

6 開ボタンを押して、ふたを開ける（KD-28/32/36HD600のみ）。メニューボタンを押す。

電源コードを今後抜き差しするたびに、「傾き補正」画面を表示させるかどうかを確認するメッセージが出ます。

7 「いいえ」が選ばれていることを確認して、決定する。

引き続き、テレビ（地上波）のチャンネルを設定してください。
30秒間くらいで、お住まいの地域で受信できるテレビ放送（地上波）を自動設定し、受信できます。くわしくは、取扱説明書（☞108☞86ページ）の「準備6:テレビ（地上波）のチャンネルを設定する」をご覧ください。

お引っ越しやお部屋の模様がえなどで、テレビの設置場所や向きを変えたときは

以下の手順にしたがって補正し直してください。

1. 開ボタンを押して、ふたを開ける（KD-28/32/36HD600のみ）。メニューボタンを押して、メニューを出す。
2. △/▽で「（テレビ設定）」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
3. △/▽で「画像傾き補正」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
4. △/▽で「傾き補正　回転」または「傾き補正　上下」を選び、調整する。
5. 操作終了後、メニューボタンを押して、メニューを消す。